

TP-7

フィールドレコーダー・ユーザーガイド



TP-7は超ポータブルデジタル・テープレコーダーで、私たちのフィールドシステムの4番目のリリースです。見た目以上に多くの機能を備えたTP-7は、最も多様なオーディオ機器であり、あなたの新しい日常のパートナーです。このガイドは、TP-7の機能を発見するためにTP-7のツアーにあなたを連れて行くために書かれています。

- 楽しいツアーを

アルミニウムの筐体やナイロンバッグの付属品など、すべてのアイテムは携帯性、互換性、耐久性を考慮して設計されています。いつものように、私たちはできるだけ小さなスペースに多くのテクノロジーを詰め込み、すべてのデバイスを最大限に活用することを目指しています。

より詳細な情報については、最後の警告と保証のセクションを参照してください。TP-7は非常に技術的でデリケートな製品です。正しい操作方法、お手入れ方法、保管方法を必ず学んでください。

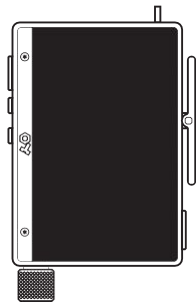
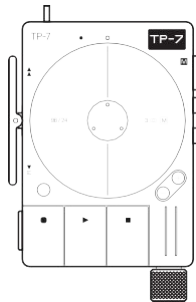
このガイドの最新版
: teenage.engineering/guides/tp-7

ハードウェア

TP-7フィールドレコーダーは、耐久性のあるアルミニウム製で、PU合成皮革を裏打ちし、すべてのポータブル録音アプリケーションのためのカスタムメイドのコントロールを備えています。主なコントロールとナビゲーションの中心は、メカニカルテープリール、メモボタン、再生、停止、録音ボタンです。

TP-7のハイライト:

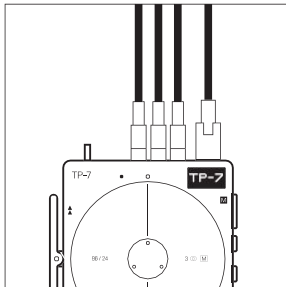
- ウルトラ・ポータブル・プロ・レコーダー
- 3系統の2ウェイ・ミニジャック
- メイン/ヘッドフォン出力×1
- USB-C audio class 1
- MIDIオーバーUSB-CおよびBluetooth LE
- 7時間充電可能バッテリー
- 片手で操作できるサイドボタン
- オーディオスクラブ用サイドrocker
- 電動テープリール
- LED VUメーター
- クイックメモ機能
- ファイルストレージ用オーディオライブラリ
- コンパニオン・トランスクリプション・アプリ



双方向ジャック/USB-C

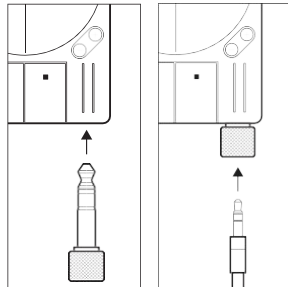
TP-7の上面にある3つの3.5mmミニ・ジャック・ソケットは2ウェイ・ジャックで、ステレオ入力または出力、あるいはヘッドセット用として設定できます。ヘッドフォン、スタジオ・モニター、マイク、あるいはTX-6やOP-1フィールドなどのオーディオ機器を接続できます。

USBタイプCポートは、マルチチャンネル・オーディオインターフェイスとしてだけでなく、MIDIコントロール、ファームウェアアップデート、充電にも使用できます。

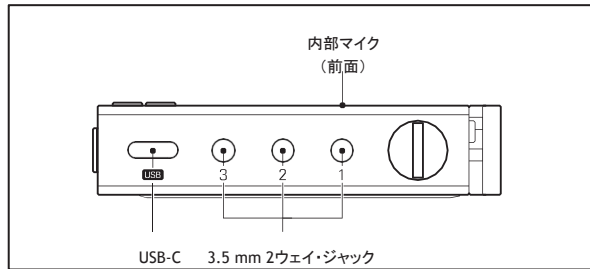


メインアウト

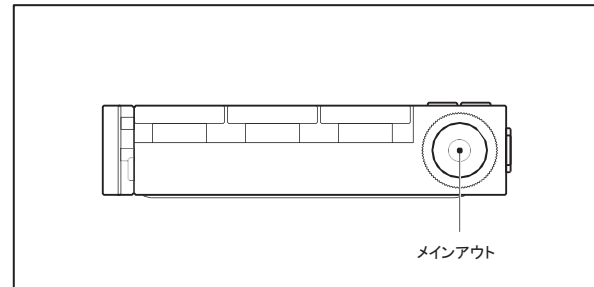
TP-7メイン出力は、ユニット前面下部にあります。メインステレオオーディオ出力信号に使用され、付属の着脱可能な6.35mmジャック-3.5mmミニジャックアダプターを装着します。



上面



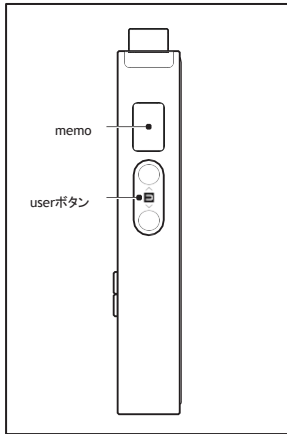
底面



右面

メモ録音ボタンとユーザーボタンは本体右側にあります。

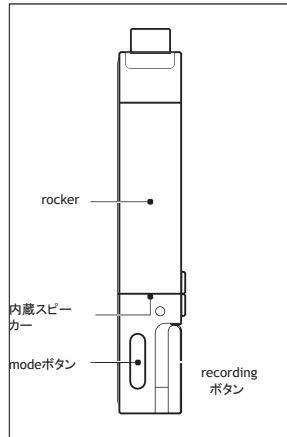
- memoはボイスメモ録音用。
- userボタンの上下は、
入力ゲインの設定とファイル情報の表示に使用します。



左面

rocker、内蔵スピーカー、modeボタンは左側にあります。

- rockerでテープの早送りと巻き戻しができます。
- TP-7に何も接続されていない場合は、自動的に内蔵スピーカーからオーディオが再生されます。
- modeボタンと、異なるコンテキストでモードとメニューを切り替えます。



入出力例

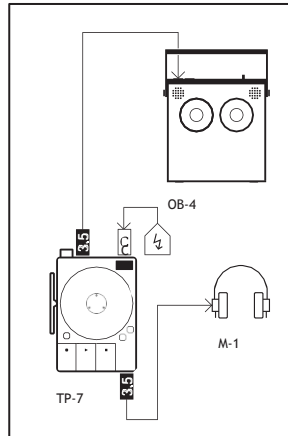
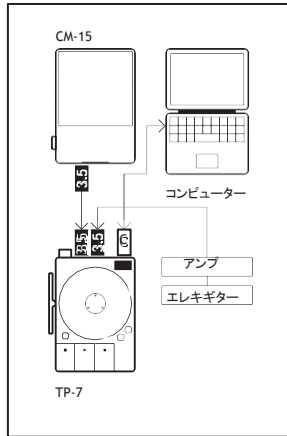
2ウェイジャックを入力として使用する
場合、個別にステレオ、モノ、バランスモノと
して設定でき、組み合わせも自由です。

ヘッドセット入力として使用する場合、
M-1 パーソナルモニターヘッドセットな
ど、3つの別々のヘッドセットを接続でき
ます。

出力端子として、外部スピーカーや
ヘッドフォンなど、ライン入力端子のあ
るものに接続できます。

必要であれば、付属のジャック・ミニジャッ
クアダプターを使用してください。

USB-Cは、クラス・コンプライ・マルチ・
チャンネル・オーディオ・インターフェイス
として使用できます。接続するものによ
って異なりますが、最大6つのステレオ
・チャンネル・オーディオの入出力が可
能です。

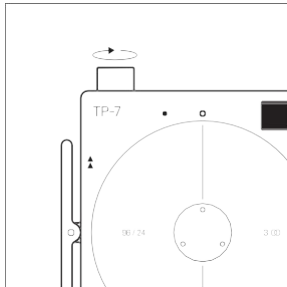


電源

TP-7の電源を入れるには、カチッと音がするまで電源ノブを時計回りに回してください。ディスプレイには、再生画面に到達する前に、TP-7のパワーアップタイトル画面が短く表示されます。

ノブを回してマスター・ボリュームを調節してください。

TP-7の電源を切るには、ノブを反時計方向に回し、カチッという音を過ぎます。



充電

バッテリーの残量が少なくなると、上部のLEDが赤く点灯し、バッテリー残量が少なくなると赤く点滅します。充電中、バッテリーが完全に充電されると、上部のLEDが白く点灯します。

ファームウェア・アップデート

TP-7のファームウェアをアップデートするには：本体をUSB経由でコンピュータに接続し、MIDIアップデーターのウェブページにアクセスします：

teenage.engineering/apps/アップデート
ファームウェアファイルをダウンロードしてアップデートすることもできます：

teenage.engineering/downloads/tp-7

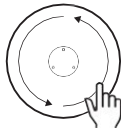
start

TP-7のメインインターフェイスに慣れることから始めましょう。

電動テープリールはレコーダーの心臓部であり、両方向に回転させることができ、録音のスクラブやメニューのスクロールができます。

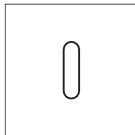
modeボタンは、システムメニューにアクセスしたり、モードを切り替えたり、再生画面に戻ったりするのに使用します。

tape reel



テープ・リールを回転させることで、スクラブ、メニューのスクロール、オーディオの一時停止、を行うことができます。

mode



左側のボタンを押すとモードが切り替わり、押し続けるとシステムメニューとコンテキスト設定にアクセスできます。

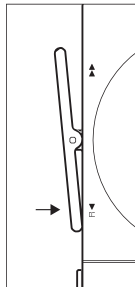
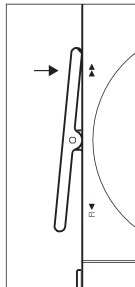
rocker

左側のrockerは、左右どちらかを押すことで、オーディオをスクラブすることができます。これは、リールを時計回りに回転させると早送りになり、反時計回りに回転させると巻き戻しになります。

早送り



巻き戻し



ボタン



record



plus



play



minus



stop



up



memo



down



mode

テープリール



リールを回転



右回転／早
送り



左回転／巻
き戻し



ホールド
リール／
ポーズ

rocker



rockerを押して
早送り



rockerを押して
巻き戻し

本ガイドの規則

ボタンを順番に押す必要がある場合もあれば、組み合わせて押す必要がある場合もあります。これらのイラストとテキストは、ガイドに沿って進むのに役立ちます。

ボタンを押すには、タップしてから離す。ボタンを押したままにするには、ボタンを押して押し続けたままにする。ノブやボタンの多くは、状態によって機能が異なります。



+



ボタンを1回押す。

ボタンを押し続ける

一方のボタンを押し、
次にもう一方のボタン
を押す。

両方のボタンを同
時に押す。



ボタンを1つ押し、続い
てリールを回転させ
る。

最初のボタンを押し
続け、リールを回転
させる。



mode: メモ／録音
／ライブラリー



機能: 再生／録音
／MTP

注: modeと機能のアイコンは、それぞれの
セットアップの推奨設定として、シナリオセ
クションに示されています。

mode



TP-7フィールド・テープ・レコーダーには3つの主な再生モードがあります:

- memo: メモ機能で録音した簡単なボイスメモにアクセスできます。
- recording: デバイスで行われた他のすべての録音。
- library: 高解像度のオーディオ再生モードで、外部コンテンツをデバイスに読み込んで再生します。

左側のモードボタンをタップすると、これらのモードが切り替わります。

memo



メモは、ボイスメモの録音をキャプチャして再生します。メモは、内蔵マイクを使ってオーディオをキャプチャします。

recording



レコーディング・モードでは、マルチトラック・レコーディング機能にアクセスできます。

library



ライブラリーモードは高解像度のオーディオファイル音楽プレーヤーです。コンピュータからファイルを転送し、TP-7で再生します。

メニュー操作

memo

recording

playback



モード切り替え／
メニュー終了



メモを録音する



システムメ
ニューを表示



メモの録音を停止
するリリース



スクロールメニュー
／ 値の変更



トグルトラック



セレクト／パッ
ク



メモ録閲覧



アームテープ
で録音



録音開始



ストップ
レコーディング



ゲイン
調整



再生開始



巻き戻し／早送り



リールをホールド
して再生を一時停
止



スクラブ録
音

スクリーン

デバイスの電源をオンにすると、再生画面には最後に開いていたファイルが表示されます。何らかの機能がアクティブになったり、リールが回転したりすると、前の画面に戻る前にディスプレイに反映されます。



起動/タイトル画面。



再生画面／現在の録音。



初めて起動したとき、または memo/recording/library を空にしたときは、再生画面にこの画面が表示されます。



feeld-kit アプリに接続すると、時刻と日付は自動的に更新されます。



バッテリー残量は、usb-c 経由で接続し、TP-7 の電源をオフにすると表示されます。



TP-7 アップグレード画面は、本体の電源投入時に mode を押したままにします。これにより、ブートローダー機能が有効になります。

systemメニュー



modeを押したままテープリールを回してメニューをスクロールし、プラスボタンを押してsettingsページを選択します。

settingsページで、テープリールを使って値を調整し、プラスを押してページの次の設定に進みます(次の設定がある場合)。

戻るにはマイナスを、終了するにはモードを押してください。

system settings



システム・メニュー・ナビゲーション



modeボタンを押し続けてsystemメニューにアクセスします。

テープリールを回して異なる設定を選択します。



プラスを押すと設定にアクセスし、マイナスを押すとメニューに戻ります。



テープリールを回して値を調整し、プラスで次の値を選択します。



modeを押すか、停止して再生画面に戻ります。

system settings

jack



2ウェイジャックをライン入力、ヘッドセットマイク入力、または出力として設定します。

edit



編集モードをトラックの置き換えまたはミックスに設定します。

play



現在のファイルを聴いた後、自動的に次のファイルを再生するようにTP-7を設定します。

bluetooth



Bluetooth (le) メニューでペアリングを行い、Bluetooth 接続を有効にします。

led



お好みの明るさに調節してください。

speaker



内蔵スピーカーを常にオンにするか、メインジャックの検出に依存するかを選択します。

sfx



ユーザーインターフェースの効果音をスピーカーから聞くには、sfxを有効にします。

motor



テープリールモーターをオフ、再生、または録音と再生の両方に設定します。

system settings

memo



メモを高画質または標準画質で録音し、録音時間を延長できます。

rate



録音時のサンプル・レートは48 kHzまたは96kHzのいずれかとなります。

disk space



TP-7のディスク容量128GBのうち、使用されているディスク容量を示します。

name



TP-7の名前を変更します。

time



systemメニューから手動で時間を設定します。

date



systemメニューから手動で日付を設定する。

fw version



ファームウェアのバージョン情報が表示されます。

factory reset



工場出荷時にリセットするにはテープ・リールを回して確認します。

注: 録音したコンテンツはすべて残ります。

ledとvuメーター

TP-7Iには3つのledライトインジケーターがあります:

- 赤recording led
- トップled
- vuメーター

rec led

- | | |
|-----------|----------|
| ● 赤: 点灯 | レコーディング中 |
| ○ 赤: 遅い点滅 | レコードアーム |
| ◎ 赤: 早い点滅 | 編集モード |

トップ

- | | |
|-------|---------------------------|
| ○ 白点灯 | バッテリーは充電モードで、完全に充電されています。 |
| ● 赤点灯 | バッテリーの残量が少ない。 |
| ○ 赤点滅 | バッテリーの残量が極端に少ない。 |

vuメーター

- | | |
|---|-----------------------------|
|  | ミックスモード時に選択されたインプットのレベルを表示。 |
|  | 赤色ledはピーキングを表示。 |
|  | クリップ。 |

jacks

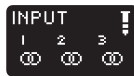
システム・メニューで、トップ・ジャックの以下のモードを選択することができます。

- input: ライン入力は、モノ、バランスモノ、ステレオの3タイプから選べます。
- headset: マイク付きヘッドセット
- multitrack player: 端子はライン出力として設定されます。



システムメニューからjacksの設定にアクセスしてください。

stereo



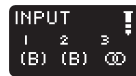
stereo
すべての3つのジャックをステレオに設定します。

mono



mono
モノラルに設定します。

balanced



2つのジャックはバランス・モノ、3つ目はステレオに設定されています。

headset



ヘッドセットマイク
全てマイク付きヘッドセットの設定になります。
注: 各ジャックには、個別の出力ボリューム設定があります。

line output



全てのジャックはライン出力として設定されます。

memo

memoは、内蔵マイクを使用したボイスメモの録音と再生用に設計されています。

この機能は、本体の電源がオフの状態でもアクセスできます。メモボタンを長押しするだけで、デバイスが起動し、録音が始まります。



長押しでメモを録音

話すとメモの録音を停止

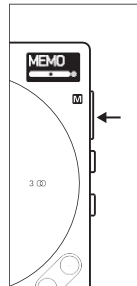
メモ録音の切り替え

ファイル情報を表示

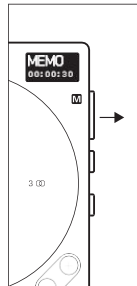
memo recording

TP-7の電源が入っている状態でmemoボタンを長押しすると、この機能にアクセスできます。そのまま押し続けると、内蔵マイクを使ってボイスメモやあらゆる種類の録音を行うことができます。

長押ししてメモを録音。



離すとメモ録音を停止。



memo recording



memoボタンを
長押しして、録音
を開始します。

録音中はメモボタ
ンを押し続け、離
すと録音が停止し
ます。

再生画面にメモ
が表示されます。

後でメモ録音に戻
るには、モードボタ
ンを押してメモに
移動します。

memo browsing



memoモードでは日
付と番号でボイスメ
モが表示されます。
マイナス/プラスを
使用して切り替えま
す。

長押しすると、現在
のファイル情報が
表示されます。

playとstopを 押
して再生をコント
ロールします。

テープリールと
rockerを使ってス
クロールします。

memo settings

systemメニューからメモ設定にアクセスし、メモ録音の以下のオプションを選択できます：

- quality: 高／標準
- wake: オン／オフ

プロヒント: 標準を選択してディスク容量を節約できます。wakeをオフにして誤動作を防ぐことができます。

quality



メモを高音質で記録。



標準的な品質で記録。

wake



wake on:
memoボタンを押せば電源が切れた状態でも録音が始まります。



wake off:
電源が切れている状態ではmemoボタンを押しても録音は開始されません。

録音

押して新しい録音を準備します。録音ライトが点滅し始めます。



録音待機

stopを押して録音を停止し、ファイルを保存します。



録音開始



録音停止

次の3つの異なるソースから選択して録音ができます: 内蔵マイク、アナログ入力、デジタルUSB-C。



録音待機モードで
入力を選択



ゲイン調整

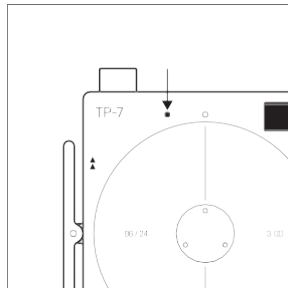
録音

TP-7に何も接続されていない場合、デフォルトで内蔵マイクが使用されます。

上部のLED左側に内蔵マイクがあります。

アナログ入力またはデジタル入力を接続している場合は、内蔵マイクと一緒に使用できます。

内部マイク



録音



ボタン押して録音待機状態にします。



録音を開始します。



押している間録音は一時停止されます。ボタンを離すと再び録音が継続します。



押すと録音が停止します。



stopを押すと最新の録音が表示されます。



playを押すと再生が開始されます。



tape reelを使用してスクラブ再生します。
rockerを使用して早送り、巻き戻し、停止を行います。

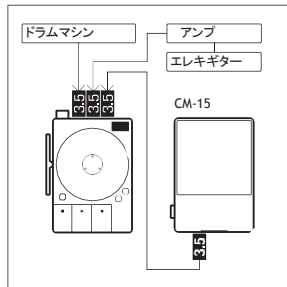


+と-ボタンで録音をスキップします。

録音： analog

すべての端子がライン入力に設定されている場合、マルチトラックモードでアナログ信号デバイスをテープで録音することができます。

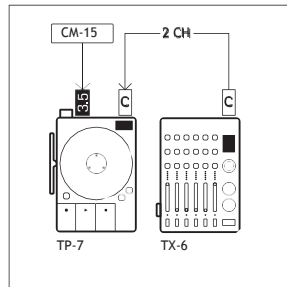
3つのアナログ入力を任意のバリエーションで使用するか、システムメニューからjackを「headset」に設定します。



録音 : analog/digital

TX-6を2チャンネル・モードで接続した場合、任意のアナログ入力と組み合わせることができます。

このセットアップは、複数のアナログ・ソースとデジタル・ソースを組み合わせる場合に最適です。

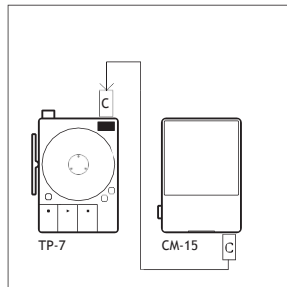


録音: digital

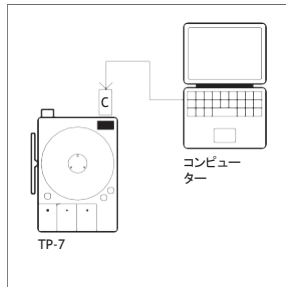
USB-Cポートは、さまざまな例のシナリオで録音に使用できます:

- 1 track: CM-15
- 3 track: コンピューター
- 6 track: TX-6 (12ch mode)

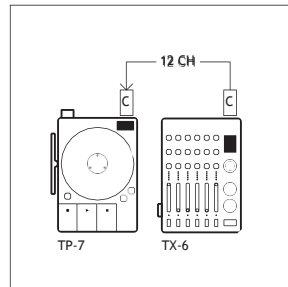
1 track



3 track



6 track



録音設定

録音待機モードと編集モードでは、トラック数と入力ソースを設定することができます。

- なし(無音)
- 内蔵マイク
- アナログ
- デジタル

トラックを選択する際に、userボタンの上下を押して入力ゲインを調整します。



録音待機に入ります。

使用するトラック数は、TP-7に接続されている状態に基づいて自動検出されます。



+を押してトラックビューに入ります。

トラック1、内蔵マイク



複数の入力接続されている場合は、+/-を押してトラックを選択します。トラック2、なし



modeを押して、入力ソースの選択肢を切り替えます。トラック2、USB-C/digital



トラックの追加は+を押したままmodeを押します。再度+を押して確定し、modeを押して入力ソースを切り替えます。



-を押しながらトラックを削除し、もう一度-を押して確定します。
プロヒント: 録音待機で押すと現在の入力の概要が表示されます。

録音の編集

TP-7では、editモードを使って録音に編集を加えることができます。既存のトラックを新しい編集に置き換えたり、ミックスしたりするオプションがあります。

ただし、元の録音に戻すことはできないので、完全に準備が整っている状態で行ってください。



editモードの切替え



再生/録音モードの切替え



インポイントを設定するためのスクラブ記録



編集
開始



system設定にアクセスしてeditモードを設定します。



スクロールして”mix”または”replace”を選択します。 ”mix”を選択すると、録音と新しい編集がミックスされます。



”replace”を選択すると、録音されたトラックが新しい編集で置き換えられます。

録音の編集



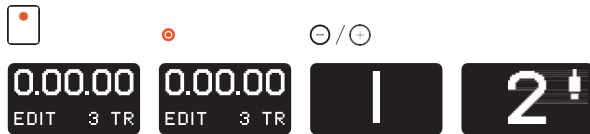
systemメニューを終了した後、編集したい録音を選択します。

recボタンとstopボタンを同時に押すと、編集モードが切り替わります。

トラック数が画面左下に表示されます。

テープ・リールをスクラブし、希望のイン・ポイントを設定します。

ファイルの開始前までスクラブバックし、録音を開始します。
録音は0から開始されます。



編集モードでは、再生と録音の両方が可能です。
recボタンを押して録音と再生を切り替えます。

録音編集モードが解除されると、録音ランプが点滅します。

編集モードでは、常に+/-でファイルトラック選択が循環します。
入力が選択されていないトラックはそのままになります。

選択された入力のトラックは、systemメニューの設定に応じて上書き/ミックスされます。

録音の編集



0.00.08
EDIT 3 TR

playを押して編集を開始します。



0.00.10
EDIT 3 TR

pauseボタンを押している間リールが一時停止します。



0.00.00
EDIT 3 TR

stopを押して編集を止める。



EDIT
OFF

編集モードを終了し、通常の録音モードに戻るには、recボタンとstopボタンを同時に押します。

例えば、ギター・ソロを録音したが、それを再録音したい場合、replaceモードで古いテイクを消去し、代わりに新しいテイクを録音することができます。

ボーカル・トラックにハーモニーを加えたい場合、ミックス・モードを使って新しいレコーディングを既存のレコーディングの上にオーバーダビングします。

gain



ボーカルから楽器まで、レコーディングのあらゆる場面で、最高の音質を得るためにゲインレベルを調整する必要があります。

ゲイン・レベルを調整すると、スクリーンにデシベル数が表示されます。テープの右下にあるLEDがレベルを示すので、安全なゾーンにいるときやクリッピングの危険があるときを確認できます。

0dB

最小ゲイン

rec armdモード(アナログ)の状態で、上/下を押してゲインを設定します。

+42dB

最大ゲイン

最大アナログゲインは+42dBです。

fix gain

USB-C入力または内蔵マイクを選択した場合、ゲイン設定はデフォルトで固定されます。

これらの入力を使用しているときに、上下ボタンでゲインを設定すると、以下の画面が表示されます。

注: CM-15マイクをUSBでTP-7に接続した場合、そのゲインは-12dBから+12dBまで調整できます。

usb-c

DIGITAL
FIXED GAIN

mic

MIC
FIXED GAIN

再生

再生では、録音してデバイスに保存したトラックを聴き返すことができます。

内蔵スピーカーまたは接続し外部スピーカー/ヘッドフォンで再生します。

modeボタンを使って、memo、recording、またはライブラリから再生ソースを選択します。



start
playback



pause
recording



scrab
recording



skip tracks



rewind /
fast forward

再生



押して再生を開始します。



リールをホールドすると再生が一時停止し、離すと再生が継続します。



リールを好きな方向に回転させ、曲送りや曲戻しをスクラブすることができます。ロッカーで早送りや巻き戻しもできます。



stopを押して再生を停止します。もう一度stopを押すとファイルの先頭にリセットされます。

再生設定

resume



システム設定から再生方法を設定できます。



systemメニューで再生がresumeに設定されている場合、トラックが終了すると自動的に次のトラックがロードされます。

stop



stopに設定すると、トラック再生後に停止します。

repeat



リピートを設定すると、トラックが終了すると、再び再生が始まります。

再生速度と方向



playボタンを押すと再生が始まり、もう一度押すと再生方向が逆になります。



再生中にmodeボタンを押して再生速度を調整します。
スピードアジャスターが表示され、デフォルトでは0に設定されています。



再生速度 -50% (最小)
左に回転させるとスピードが落ちます。



再生速度 +200% (最大)
右回転でスピードが上がります。

ファイルのブラウズ



memo



modeボタンを押すと、メモ、録音、ライブラリーの3つの再生モードが切り替わります。

memo

ファイルは録音日/年/時間ごとに表示されます。

recordings



テープ録音

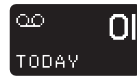
ファイルは録音日/年/時間ごとに表示されます。

Library



ライブラリ

ファイルはA-Z順に表示されます。



+/- ボタンでファイルをスキップします。



upボタンを押しながらテープリールを回して録音をブラウズします。

モードにより、リストには日付またはフォルダが含まれます。



upボタンをもう一度押して録音ファイルを選択します。



downボタンを押し続けるとファイル情報が表示されます。

スピーカー

TP-7にはスピーカーが内蔵されており、録音したものをすぐに試聴するのに便利です。

systemメニューからスピーカーの設定を選択し、スピーカーの動作を制御します。

on



内蔵スピーカーがオンになり、再生時に再生音が聞こえます。

aut



機器が接続されている場合、接続されたデバイスから出力されます。機器が接続されていない場合、内蔵スピーカーから再生されます。

ボリューム

時計回りに回すと音量が上がり、反時計回りに回すと音量が下がります。スイッチを最小音量以上に戻すと、デバイスの電源が切れます。

最大



最大音量。

最小



最小量。

テープ・リール・モーター

テープ・リール・モーターは3つの方法で構成されます：

- on: play and rec
- on: play
- off

スイッチをオフにすると、テープ・リールは回転せず、録音をスクラビングすることもできません。これは、音楽プレーヤーとしてポケットに入れて持ち歩くときや、より目立たないようにしたいときに便利です。

play and rec



systemメニューからmotor設定にアクセスします。



モーターが作動し、テープリールが回転します。またスクラビングも使用可能です。

play



モーターが作動し、テープ・リールが回転するが、プレイ・モードでのみ回転します。

off



モーターはオフで、回転もスクラブもしません。

bluetooth

TP-7はbluetoothのMIDI機器からのMIDI接続を受け入れることができます。bluetoothはデフォルトでは無効になっていますので、bluetooth接続を受け入れるには、システムメニューでbleを有効にしてください。

device



systemメニューからble設定にアクセスします。



bleはオンで、bleのMIDIホストからの接続要求を受け付けます。

scan



ble-midiデバイスをスキャンし、最も信号の強いものに接続します。

off



bluetoothは無効です。

name



systemメニューからデバイス名を設定します。この名前は、起動時およびブリード接続を受け付ける際に表示されます。



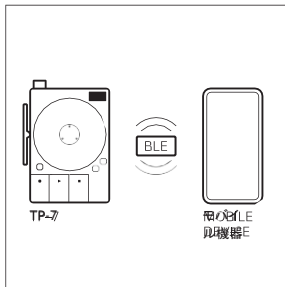
名前はカスタマイズ可能で、4文字または数字の組み合わせで構成される。

テープリールで文字をセットし、プラスで確定します。

コンパニオン・アプリ

TP-7には、録音を書き起こし、テキストとしてエクスポートするための無料のコンパニオン・アプリがあります。ble経由で音声ファイルを携帯電話に送信し、書き起こしたテキストを電子メールに送信できます。

TP-7アプリをスマートフォンにダウンロードしてください。

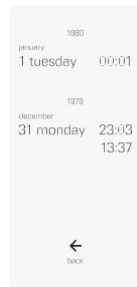
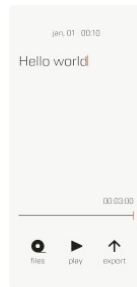
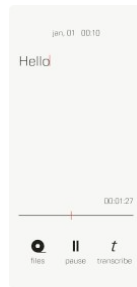
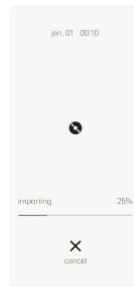


import: 接続すると、TP-7 で選択した recording/voice memoが表示されます。

transcribe: transcribe ボタンをクリックすると、録音がテープ起こしされます。

export: export ボタンを押してテキストをエクスポートします。

files: すべてのトランスクリプションにアクセスできます。



ファイルの削除

ファイルを削除するには、mtpインターフェイスを通じて、またはデバイス上で直接録音ファイルを削除することができます。

リールをスクロールして確認し、+を押します。

注:削除できるのは、デバイス上の録音とメモのみです。ライブラリファイルを削除するには、mtpインターフェイスを使用してください。



現在のファイルを削除します。



リールでyes/noを選択し、+で確定します。

ファイル転送

USBでコンピュータに接続すると、mtpインターフェイスを介してファイルを利用できます。

Mac OSでアクセスするお勧めの方法は、Field-Kitアプリをダウンロードして使用することです。このアプリは、接続時にデバイスの時刻と日付も設定します。

ファイルの転送が完了したら、TP-7をコンピュータ機器から取り外し、本機の電源を入れ直します。ファイルはライブラリブラウザに表示されます。

mtpスクリーン



電源スイッチをオフにすると、mtp画面が表示されます。

library

ライブラリーは、コンピューターから外部オーディオ・ファイルを保存し、アクセスできる場所です。再生、オーバーダビング、TP-7での独自のトラック作成、DJプレイ、トラックの選択、テープ・リールでのスクラッチなどに使用できます。

TP-7は他のファイルタイプも保存でき、コンピューターの外部ストレージ・デバイスとしても使用できます。



modeボタンをトグルしてlibraryモードにアクセスします。



libraryモードでは、最新のトラックが表示されます。

トラックが追加されていない場合は「no file」と表示されます。



+/- を押してトラックを選びます。

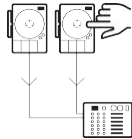


ボタンを押し続けるとファイル情報が表示されます: トラックタイトル、オーディオの長さ、サンプルレート、モノラル/ステレオ。



同じ再生設定がライブラリ再生にも適用されます。

ライブラリファイルを聴くには、再生ボタンを押してください。



pro-tip: 2台のTP-7をTX-6に接続すると、スーパー・ポータブルDJセットができます。

シナリオ

TP-7フィールド・レコーダーは、ジャーナリスト、医師、ポッドキャスター、アーティスト、DJ、クリエイターに便利な多用途デバイスです。

他のteenage engineering製品と同様、TP-7は携帯性と互換性を念頭に開発されました。

次のページでは、TP-7のさまざまな使い方を紹介する。

インタビュー



インタビューや現場、スタジオでの使用に最適です。

ポッドキャスト



TP-7の可搬性はポッドキャストに最適です。内蔵または外部マイクの使用で、より高品質なオーディオが得られます。

ボイスメモ



TP-7は、あなたの仕事、特にテープ起こしをする際の文書作成に最適なツールです。

フィールドレコーディング



TP-7は小型でバッテリー駆動が可能なので、フィールドで威力を発揮します。

ライブ録音



スタジオで楽器を録音したり、ライブ・セットで演奏する際の録音に使用できます。

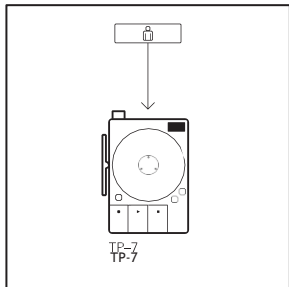
ライブパフォーマンス



TP-7はターンテーブルとして、TX-6はミキサーとして機能します。

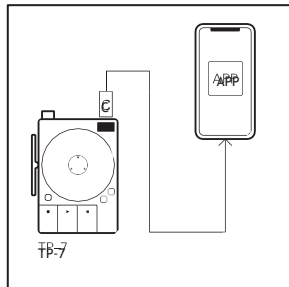
ボイスメモ

モード: **M** 機能: 



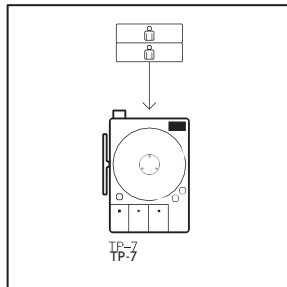
トランスクリプション

モード: **M** 機能: 



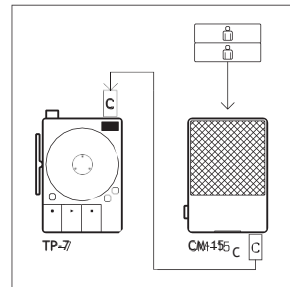
フィールドインタビュー

モード:  機能: 



スタジオインタビュー

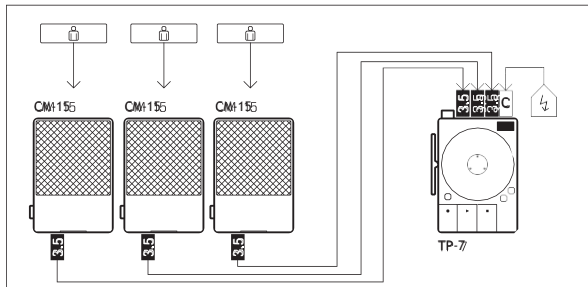
モード:  機能: 



ポッドキャスト

モード: 

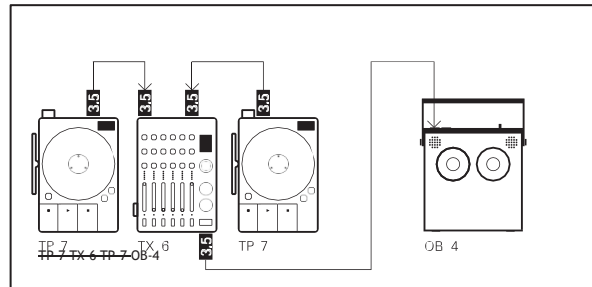
機能: 



DJセットアップ

モード: 

機能: 



外付けドライブ

ポケットプレーヤー

モード:



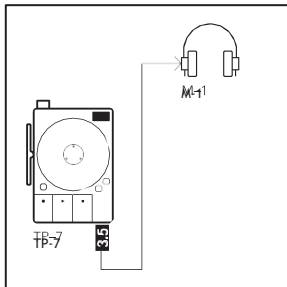
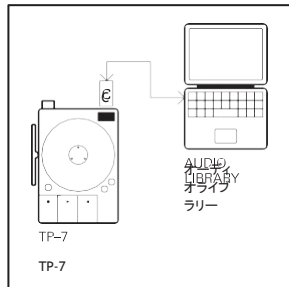
機能:



モード:



機能:

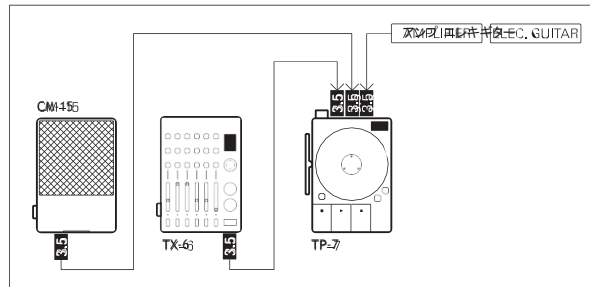


マルチトラックレコーダー

モード:



機能:



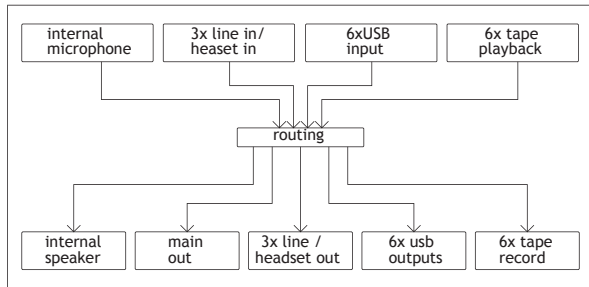
オーディオルーティング

再生モードでは、アナログ入力とUSB入力は使用されません。再生はメイン出力、USB出力、内蔵スピーカー経由で行われます。

オーディオをどのようにルーティングするかによって、さまざまなオプションが利用できます。

以下の送信が行えます：

- USB接続の6セパレート・チャンネル
- multichannel playerモードで3つの独立したラインアウト
- headsetモードの場合、すべてのヘッドセットにミックス
- ノーマルでメインアウトにmixモードとheadsetモード
- メイン出力が切断されている場合、ノーマルモードでスピーカーにミックス



技術仕様



- 3系統の2ウェイ・ミニジャック
- ステレオヘッドフォンコネクター×1
- 24-bit/96 kHz USBオーディオ・インターフェース
- bluetoothローエナジー無線インターフェース
- 充電電池
- 7時間のバッテリー動作
- 64x32ピクセル・モノクロ・ディスプレイ
- 128GBの内蔵ストレージ

電気的特性

- 2ウェイジャック:入力
:
インピーダンス 9.5 kΩ
アナログゲイン 0 - 42 dB
最大レベル 8 dBu、2 Vrms
SNR 105 dBA
ヘッドセット:
最大レベル 2 dBu、1 Vrms
SNR 110 dBA
マイクSNR 98 dBA
- ヘッドフォン出力:最大レベル8 dBu、2 Vrms SNR 120 dBA

取り扱い

使用周囲温度 0-50°C (32-122°F)

周囲保管温度 0-30°C (32-86°F)

マイクロファイバークロスで本機の外装をクリーニングしてください。ブローなどではほこりを取り除いてください。

バッテリーを健全に保つため、本機は少なくとも6ヶ月ごとに充電する必要があります。長期間使用しないと、再充電できなくなることがあります。

警告および保証

teenage engineering TP-7
モデル番号: TE025AS001

不適切なタイプのバッテリーに交換すると、爆発
や火災の危険があります。 teenage engineering
が供給し、有資格者が取り付けたバッテリーの
みを使用してください。聴力障害を防ぐため、大
きい音量で長時間使用しないでください。

保証、安全に関する指示、および規制に関
する全情報については、こちらをご覧ください:
teenage.engineering/guides/tp-7

このデバイスは、FCC 規則のパート 15 およ
び ISCED カナダのライセンス免除 RSS に準拠
しています。操作には次の 2つの条件が適用
されます:

(1) 本装置は有害な干渉を引き起こしてはなら
ない。

(2) 本装置は、望ましくない動作を引き起
こす可能性のある干渉を含め、受信した
あらゆる干渉を受け入れなければならない
い。

teenage engineeringが明示的に承認していない
改造を行った場合、本装置を操作するユーザー
の権限が無効になることがあります。

FCC ID: Z23025A
IC: 9915A-025A

RF被ばくコンプライアンス

本装置は、非管理環境用に規定された FCC/ISD 放射線被ばく限度に準拠しています。 エンドユーザーは、RF 被ばくコンプライアンスを満たすために、特定の操作説明書に従わなければなりません。この送信機は、他のアンテナや送信機と一緒に設置したり、一緒に操作したりしないでください。

このポータブルデバイスは、FCC/ISDにより制定された電波への暴露に関する要件を満たすように設計されています。これらの要件では、1回の平均で1.6w/kgのサーマルリミットが設定されています。

GRAM OF TISSUE:製品認証の際に報告された、身体に適切に装着され、0mmの分離で用された場合の最高 sar値は、0.63w/kgです。

RF暴露適合性

本装置は、非管理環境下で確立された FCC/ISE の光線暴露制限に適合しています。本機は、非監視環境下での FCC/ISE による放射制限に適合しています。本製品は、他のアンテナやトランスミッタと組み合わせて使用しないでください。

これらの要件は、有機組織 1gに対して、一般的に1.6w/kgの塩基価の上限を設定します。使用する製品の認証の際に、0 mmの離隔で、最も高い値は0.63 w/kgです。

このポータブル機器は、ISD が定めるラジオへの暴露条件に適合するように設計されています。

注意

バッテリーが損傷していると思われる状態で、本機の充電や使用を試みないでください。

有資格者が取り付けた、ティーンエイジ・エンジニアリングが供給するバッテリーのみを使用してください。

爆発を引き起こす可能性のあるバッテリーを火や高温のオープンに廃棄したり、機械的に破碎したり切断したりすること。

爆発や可燃性液体・ガスの漏れを引き起こす可能性のある、極端に高温の周辺環境にバッテリーを放置すること。

聴力障害を防ぐため、高い音量で長時間聴かないでください。

小さな部品は子供や幼児の手の届かないところに保管すること。誤って飲み込んだ場合は、直ちに救急医に連絡すること。

MADE FOR APPLE BADGE

MADE FOR APPLEバッジの使用は、そのバッジで特定されるアイチューンズ製品に特別に接続するために設計され、アイチューンズの性能基準を満たしていることがデベロッパにより認定されているアクセサリであることを意味します。appleは、本デバイスの動作または安全基準および規制基準への準拠について責任を負いません。

iphone®は、米国およびその他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。商標「iphone」は、日本国内ではアイホン株式会社のライセンスに基づき使用されています。

Made for
 iPhone

EUコンプライアンス

teenage engineeringは、無線機器タイプ TP-7、TE025AS001 が指令 2014/53/EU に適合していることを宣言します。EU 適合宣言の全文は、以下のインターネットアドレスから入手できます：

teenage.engineering/guides/tp-7

周波数帯域：2400 -
2483.5 mhz

最大出力：10 dbm EIRP

英国コンプライアンス

teenage engineeringは、無線機器タイプ TP-7、TE025AS001 が無線機器規則 2017 に適合していることを宣言します。英国適合宣言の全文は、以下のインターネットアドレスから入手できます：

teenage.engineering/guides/tp-7

リサイクル

このマークが付いた電気・電子機器、部品、電池は、通常のご家庭ごみと一緒に廃棄しないでください。本製品にはリチウムイオン電池が内蔵されています。



TEENAGE
ENGINEERING AB
TEXTILGATAN 31
120 30 STOCKHOLM
SWEDEN / SUÈDE



FIRMWARE VERSION:1.0.8

designed and
engineered by
teenage
engineering